平成24年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月12日

上場会社名　株式会社 マルマエ　　上場取引所　東
コード番号　6264　URL　http://www.marumae.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 前田　俊一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 藤山　敏久　TEL 0996-64-2900

四半期報告書提出予定日　平成24年1月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第1四半期の業績(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第1四半期	362	29.4	54	―	45	―	44	―
23年8月期第1四半期	279	27.4	△37	―	△46	―	△48	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第1四半期	2,538.58	―
23年8月期第1四半期	△2,638.49	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第1四半期	2,243	118	5.3
23年8月期	2,245	74	3.3

(参考) 自己資本　24年8月期第1四半期　118百万円　23年8月期　74百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年8月期	―				
24年8月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年8月期の業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	592	△0.5	51	―	31	―	23	―	1,318.35
通期	1,100	△13.2	60	―	20	―	10	―	573.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期1Q	18,540 株	23年8月期	18,540 株
② 期末自己株式数	24年8月期1Q	1,094 株	23年8月期	1,094 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期1Q	17,446 株	23年8月期1Q	18,540 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する定性的情報 …… 2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 2
４．四半期財務諸表 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 5
第１四半期累計期間 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）セグメント情報等 …… 6
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、設備投資は下げ止まりつつあり、生産や雇用情勢に持ち直しの動きもみられるものの、欧州の金融危機に端を発した世界経済の減速懸念や急激な円高の進行等により、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社の主な販売分野であるＦＰＤ業界におきましては、テレビ向けの液晶パネルの需給が悪化していることで関連する大型液晶パネルの設備投資は停止している状況ながらも、タブレット型パソコンやスマートフォン向けの中小型パネル生産が順調に推移したことによって中小型液晶タッチパネルや有機ＥＬディスプレイ製造装置の設備投資が活発に推移しました。半導体業界におきましても、タブレット型パソコンやスマートフォン等の需要拡大が追い風となり設備投資は堅調に推移しました。太陽電池業界におきましては、日本国内の家庭用の結晶系太陽電池の需要は好調でありましたが、中国の新興メーカーの台頭などアジア地域を中心とした生産が増加している事により需給が悪化し急激な価格低下が続いております。ただし、太陽電池の需要につきましては、再生可能エネルギーに関する政府方針にも関連し家庭用のみならず大規模発電所用途も中長期的に再成長していく可能性が高まっております。

このような経済状況のもとで、当社は、タブレット型パソコンやスマートフォン向けを中心としたＦＰＤ分野・半導体分野の売上及び受注の拡大に注力いたしました。また、事業再生ＡＤＲ手続における事業再生計画の生産構造改革により固定費は削減され、生産性も大幅に改善いたしました。なお、営業外費用として、熊本事業所の閉鎖による休止固定資産の減価償却費を５百万円計上いたしました。

この結果、当第１四半期累計期間の業績は、売上高362百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益54百万円（前年同期の営業損失は37百万円）、経常利益45百万円（前年同期の経常損失は46百万円）、四半期純利益44百万円（前年同期の四半期純損失は48百万円）となりました。

なお、平成23年８月31日付で装置組立事業を廃止したため、精密切削加工事業のみの単一セグメントとなっております。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

前事業年度に比べ、２百万円減少し2,243百万円となりました。主な内容は、現金及び預金が79百万円、電子記録債権が40百円増加、受取手形及び売掛金が64百万円、たな卸資産が14百万円、有形固定資産が32万円、その他流動資産が９百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

前事業年度に比べ、46百万円減少し2,124百万円となりました。主な内容は、買掛金が４百万円、１年内返済予定の長期借入金が６百万円、その他流動負債が33百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

前事業年度に比べ、44百万円増加し118百万円となりました。主な内容は、四半期純利益の計上により利益剰余金が44百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の3.3%から5.3%となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第１四半期累計期間の業績につきましては、売上高は堅調に推移し、利益面は生産構造改革の推進による固定費削減や生産性向上により増収増益となっておりますが、概ね想定通りの推移であり、第２四半期以降は円高の影響に加え、ＦＰＤ及び半導体製造装置市場の収縮を見込んでおり、厳しい事業環境が続くものと予想しております。

以上により、第２四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年10月13日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、当第１四半期累計期間において、営業利益54百万円、四半期純利益44百万円を計上しておりますが、平成22年８月期まで３期連続して営業損失を計上し、前事業年度においては、営業利益５百万円を計上しながらも当期純損失389百万円を計上している状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は前事業年度より実施しております、事業再生ＡＤＲ手続の事業再生計画における金融支援策や熊本事業所閉鎖及び人員整理等の施策効果、当事業年度に実施しております生産構造改革により、収益状況は順調に推移し、収益性の向上による経営基盤の改善が継続的に見込める状況にあります。また、資金面においても、当該事業再生計画に基づく弁済方法の変更により、安定した事業運営を進めるための十分な運転資金を有している状況であります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は存在しないと判断しております。

なお、文中の将来に関する事項は、当第１四半期決算短信提出日現在において当社が判断したものであります。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年８月31日）	当第１四半期会計期間 （平成23年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	144,497	223,738
受取手形及び売掛金	452,717	388,257
電子記録債権	－	40,240
商品及び製品	2,080	260
仕掛品	44,035	31,726
原材料及び貯蔵品	551	305
その他	19,222	9,527
貸倒引当金	△943	△869
流動資産合計	662,161	693,186
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	563,454	554,705
構築物（純額）	14,685	13,792
機械及び装置（純額）	416,533	391,711
車両運搬具（純額）	3,156	6,698
工具、器具及び備品（純額）	3,258	3,293
土地	427,524	427,524
リース資産（純額）	10,400	9,200
建設仮勘定	115,535	115,535
有形固定資産合計	1,554,549	1,522,462
無形固定資産	5,040	4,246
投資その他の資産	23,605	23,385
固定資産合計	1,583,195	1,550,095
資産合計	2,245,357	2,243,281
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,266	28,906
1年内返済予定の長期借入金	6,610	－
未払法人税等	4,244	1,762
受注損失引当金	6,000	7,000
その他	102,020	69,649
流動負債合計	152,140	107,319
固定負債		
長期借入金	2,008,945	2,008,945
資産除去債務	1,570	1,573
その他	8,131	6,585
固定負債合計	2,018,646	2,017,103
負債合計	2,170,787	2,124,423

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年８月31日）	当第１四半期会計期間 （平成23年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	133,000	133,000
資本剰余金	123,000	123,000
利益剰余金	△181,430	△137,141
株主資本合計	74,569	118,858
純資産合計	74,569	118,858
負債純資産合計	2,245,357	2,243,281

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成22年11月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成23年11月30日）
売上高	279,943	362,348
売上原価	267,396	255,951
売上総利益	12,546	106,396
販売費及び一般管理費	50,495	52,015
営業利益又は営業損失（△）	△37,948	54,381
営業外収益		
受取利息	12	7
為替差益	－	1,883
助成金収入	740	－
保険差益	343	－
その他	619	191
営業外収益合計	1,715	2,082
営業外費用		
支払利息	9,672	5,938
為替差損	706	－
減価償却費	－	5,034
その他	265	232
営業外費用合計	10,645	11,205
経常利益又は経常損失（△）	△46,878	45,258
特別利益		
固定資産売却益	－	90
特別利益合計	－	90
特別損失		
固定資産売却損	－	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	978	－
特別損失合計	978	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△47,856	45,349
法人税、住民税及び事業税	1,060	1,060
法人税等合計	1,060	1,060
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△48,917	44,288

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期累計期間（自　平成22年９月１日　至　平成22年11月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期損益計算書計上額（注２）
	精密切削加工事業	装置組立事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	278,411	1,531	279,943	－	279,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	86	－	86	△86	－
計	278,497	1,531	280,029	△86	279,943
セグメント損失(△)	△22,487	△15,460	△37,948	－	△37,948

（注）１.調整額はセグメント間取引消去であります。
２.セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期累計期間（自　平成23年９月１日　至　平成23年11月30日）
当社は、精密切削加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
なお、平成23年８月31日付で装置組立事業を廃止したため、精密切削加工事業のみの単一セグメントとなっております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。